



**2017年度** (2017年4月~2018年3月)  
**環境・社会報告書**

## 編集方針

本報告書はアネスト岩田グループの環境保全活動および環境配慮製品を通じた環境負荷低減活動を中心に作成しています。なお、資源保護の見地から、電子版で発行しております。

## 対象組織

- アネスト岩田株式会社（当社）
- アネスト岩田コンプレッサ株式会社
- アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社
- エアエンジニアリング株式会社

※本報告書は日本国内を対象としております。

## 報告対象期間

2017年4月1日～2018年3月31日

## 発行年月

2018年12月  
（次回発行：2019年8月予定）

## 免責事項

本報告書には、当社グループの将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、将来の事業活動の結果や将来情報に関する注意事項と異なる可能性があります。

## 発行

アネスト岩田株式会社  
神奈川県横浜市港北区新吉田町3176番地  
TEL：045-591-9344  
メール：ajinfo@anest-iwata.co.jp  
ホームページ：http://www.anest-iwata.co.jp/

## CONTENTS

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 03    | ごあいさつ               |
| 04-05 | 環境マネジメントの概要         |
| 06    | 重要な環境課題及び主要な経営指標の状況 |
| 07    | 環境汚染防止              |
| 08    | 温室効果ガスの削減/省エネルギー    |
| 09    | 循環型社会の形成            |
| 10-11 | 製品開発における環境配慮        |
| 12-14 | 社会的取り組みの状況          |
| 15    | 会社情報                |

発行責任者：経営企画部 鷹野 巧一  
編集責任者：IR広報室 渡辺 徹

## 私たちは、人と地球の未来のために 持続可能な社会に貢献できる企業を目指します。

私たちアネスト岩田グループは、創業以来の社是である「誠心」を頑なに守り続け、「社会に役立つ創造的な企業」であり続けたいという原点の下、「持続可能な社会の実現に貢献できる企業」を目指してまいりました。

地球環境問題に向けた活動についても、私たちに課せられた社会的使命であると捉えており、環境保全に関する法令遵守に加えて、地球環境に与える影響を常に意識した企業活動を推進しております。また、これらの活動は「環境汚染防止」、「温室効果ガス削減・省エネルギー」、そして「循環型社会の形成」を3本の柱として掲げています。

私たちの「環境への取り組み」についてご理解いただくために、本年度もこの「環境・社会報告書」を発行いたします。みなさまから忌憚（きたん）のないご意見、ご指導をいただければ幸いに存じます。

また、おかげさまで、2017年度は創業91周年を迎えました。私たち「アネスト岩田グループ」を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



ONLY ONE の商品で、市場毎のNUMBER ONE (No. 1) をグループ一丸 (ONE ANEST IWATA) となって、目指してまいります。

アネスト岩田株式会社

代表取締役 社長執行役員  
壺田 貴弘

## 環境マネジメントの概要

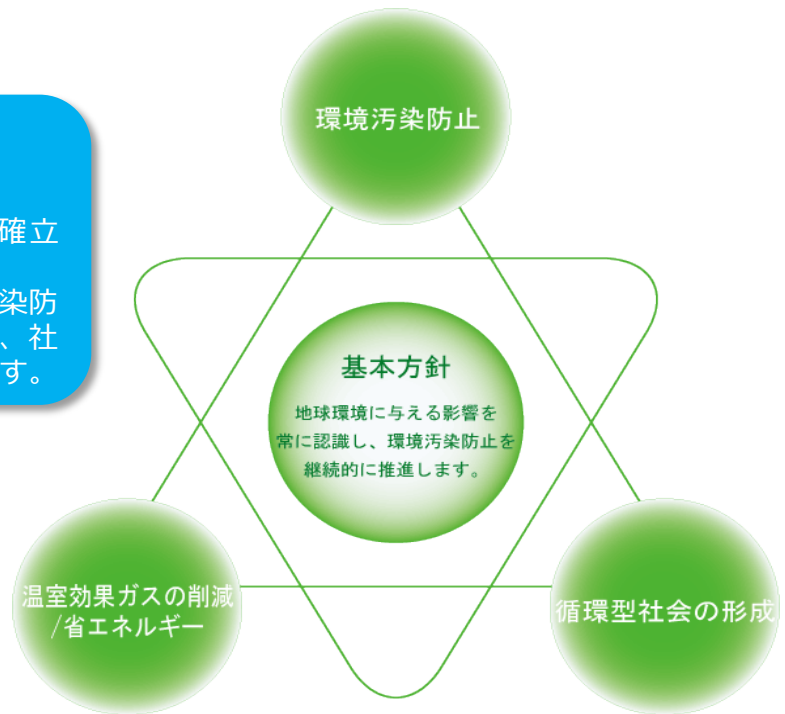
地球との共生を図りながら、環境マネジメントシステムを効果的に運用し、製品開発などの事業活動を通じて環境保全を推進しています。

### 環境方針

#### 基本理念

環境貢献型企業としての基盤の確立

省エネ、省資源、リサイクル、汚染防止等の環境保全を継続的に推進し、社会貢献と利益の最大化を両立します。



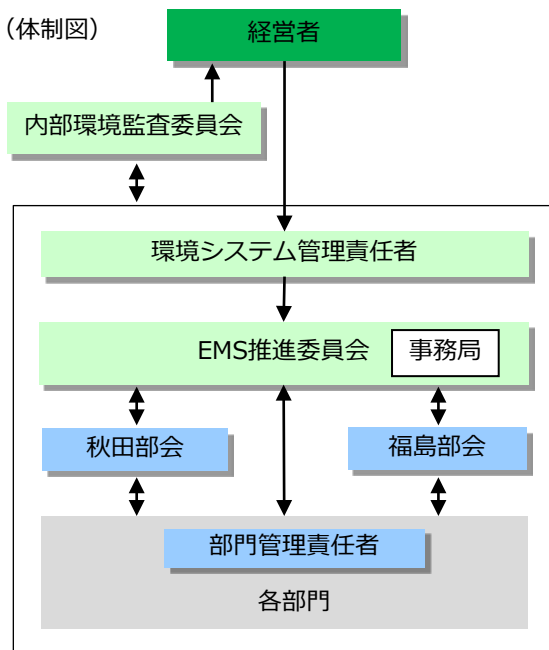
環境経営

### 環境マネジメント体制

当社は環境保全を経営の重要な課題のひとつと捉えています。国内のグループ全体で同じ環境方針を共有しながら、目的・目標を掲げ、環境マネジメントシステム(EMS)を展開しています。

これらを実践するために、ISO（国際標準化機構）の規格である、ISO 14001：2015に準拠した体制で継続的な改善に努めています。

(体制図)



## ISO認証取得

当社では、本社をはじめ秋田工場・福島工場及び国内の子会社が一体となった環境管理活動を実現するため、環境マネジメント規格ISO14001：2015の認証を取得しています。

- 1999年3月 アネスト岩田株式会社本社（塗装機メーカーとして国内初の認証取得）
- 2004年4月 アネスト岩田秋田株式会社、アネスト岩田福島株式会社（現、秋田工場・福島工場）
- 2005年3月 国内の全支店・営業所
- 2008年3月 国内の子会社を含む全社（ISO 14001：2004認証取得）
- 2012年4月 アネスト岩田真空サービス株式会社を拡大認証
- 2016年4月 アネスト岩田真空サービス株式会社を真空機器部に集約
- 2017年3月 国内の子会社を含む全社（ISO 14001：2015認証取得）

## 環境監査

当社での環境マネジメントの監査は、年1回の内部監査と外部の審査機関による環境マネジメントシステム審査を実施しています。内部監査では、認定内部環境監査員がおおよそ10の監査チームに分かれて、2週間にわたり監査を実施しています。

2017年度の内部監査では、システムを大幅に逸脱する不適合はありませんでした。また、外部審査機関によるISO 14001：2015認証継続審査においても、不適合事項はありませんでした。

## 環境法規制の遵守

当社では、該当する環境・公害に関する法律・条令などを一覧にまとめた「環境法規管理台帳」を作成しています。この台帳は法改正にあわせて随時改訂するほか、年に1度の定期見直しを実施しています。国内すべての事業所において2017年度中の違反事例、行政指導・行政処分、構内・近隣への環境汚染につながる事故はありませんでした。

## 環境教育

2017年度は主に下記の環境教育を実施しました。

- ・環境マネジメントシステム教育  
（新入社員向け/管理職向け）
- ・環境マネジメント研修  
（新任管理者向け）
- ・コンプレッサの省エネセミナー  
（お客様向け）
- ・未利用エネルギーの有効活用セミナー  
（お客様向け）



本社敷地内には宿泊施設の完備された研修センターがあり、社内研修や販売店様向けの研修まで幅広く活用されています。

## 重要な環境課題及び主要な経営指標の状況

当社では重要な環境課題を「環境汚染防止」、「温室効果ガスの削減 / 省エネルギー」、そして「循環型社会の形成」を3本の柱に整理して活動しています。2017年度の活動概要は以下のとおりです。継続的な改善を図ってきた結果、温室効果ガスの削減および省エネルギーについては、目標を上回る結果となりました。

◎ 目標を上回る成果があった ○ ほぼ目標を達成した × 目標未達成

| 項目                     | 内容                      | KPI                                | 2017年度実績                    | 評価 |
|------------------------|-------------------------|------------------------------------|-----------------------------|----|
| 環境汚染防止                 | 水質汚染防止                  | 3拠点（本社・秋田工場・福島工場）の排水測定値を規制値以内に維持   | 3拠点とも目標を達成できました。            | ○  |
| 温室効果ガスの削減<br>および省エネルギー | エネルギー使用量<br>（重量換算）の削減   | 原単位で前年対比1%以上削減                     | 前年度対比4.7%減となり目標を達成できました。    | ◎  |
|                        | CO <sub>2</sub> 排出量の削減  | 原単位で前年対比1%以上削減                     | 前年度対比2.9%減となり目標を達成できました。    | ◎  |
| 循環型社会の形成               | 廃棄物の排出量削減               | 前年度対比9%以上削減                        | 前年度対比6.0%増となり目標を達成できませんでした。 | ×  |
|                        | 廃棄物の資源化率の<br>ゼロ・エミッション化 | 3拠点（本社・秋田工場・福島工場）の廃棄物の資源化率95%以上を維持 | 3拠点共に95%以上となり目標を達成できました。    | ○  |

当社は、100年企業に向けて、2016年度より3カ年に亘る中期計画をスタートさせました。その中で、2012年度に他工場へ生産機能の移管を完了しました本社の活用方針を定めており、ラボ&ショールーム・圧縮機開発技術センター、コミュニケーションスペース等へ数多くのお客様をお招きし、ソリューションのご提案や、当社への理解を深めていただいております。特に「温室効果ガスの削減/省エネルギー」につきましては、以下のような状況下におきましても、KPIをクリアすべく取り組んでいます。

- ・一部の生産設備を自動化したことに伴う、電力使用量の増加
- ・本社を生産拠点から、開発ならびにお客様とのコミュニケーションを醸成する拠点へシフト、そのような本社での試作および開発
- ・コミュニケーションスペースを導入したことに伴う、エネルギー使用量の増加
- ・働き方改革の一環として福利厚生施設を新設したことに伴う、エネルギー使用量の増加

当社では、騒音・振動・臭気・水質のほか、事業活動で発生するすべての環境負荷を低減し、環境汚染防止に努めると共に、製品の原材料の調達から販売までの環境負荷を削減するなど、お客様へ環境負荷の少ない製品やサービスを提供しています。

## 水質汚染防止と水資源の保護

本社からの排水は、2種類に分かれます。生産に使用された水はすべて産業廃棄物として適法に処理されるクローズドシステムを採用しており、下水道へ混入することはありません。なお、雨水・生活用水は下水道を利用して排水しています。

秋田工場においては、生産に使用した水、雨水・生活用水などすべての水が最終分離層で濾過され排水されています。また、ダイカストマシンの冷却水は専用の貯水槽で循環利用をして排水量の削減に努めています。

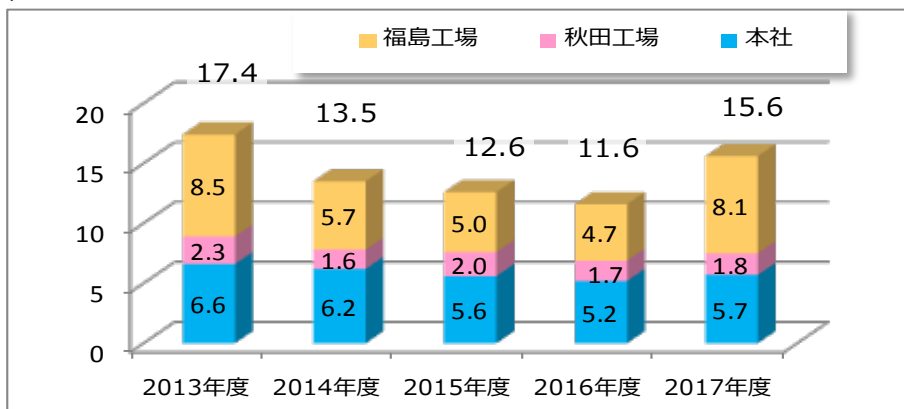
福島工場においても、生産に使用した水は産業廃棄物として処理するほか、貯水槽に集められ濾過装置を通した後に自然蒸発させる方式を採用することで、環境負荷の低減に努めています。なお、雨水はそのまま構内の側溝を経て、河川へ排出しています。

また、本社・秋田工場・福島工場では、社外に排出される雨水・生活用水すべてを定期的に検査し、下記のとおりいずれも規制値以内であることを確認しています。

(排水測定値)

|                    | 本社  |    | 秋田工場 |    | 福島工場 |    | 規制値   |
|--------------------|-----|----|------|----|------|----|-------|
|                    | 実績  | 評価 | 実績   | 評価 | 実績   | 評価 |       |
| BOD (mg/ℓ)         | 4.7 | ○  | 2.5  | ○  | 14   | ○  | 160未満 |
| ノルマルヘキサン抽出物 (mg/ℓ) | 0.5 | ○  | 1.0  | ○  | 1.0  | ○  | 5.0以下 |

(水使用量 / 単位:千㎡)



水の使用量においては、福島工場の水道管・受水槽の老朽化による漏水のため前年度より大幅に増加しました。他の拠点におきましても同じような内容が発生しないように、点検や交換に努めていきます。



## 温室効果ガスの削減／省エネルギー

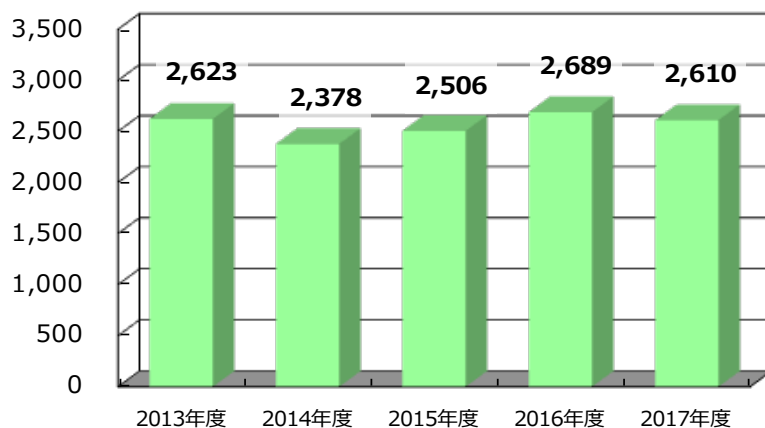
すべてのエネルギー使用量の削減に努め、当社から排出される温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）を削減し、地球温暖化防止に貢献しています。

### 省エネルギー・CO<sub>2</sub>削減（2017年度実績）

（エネルギー使用量 / 単位：kl）

前年度比増加率

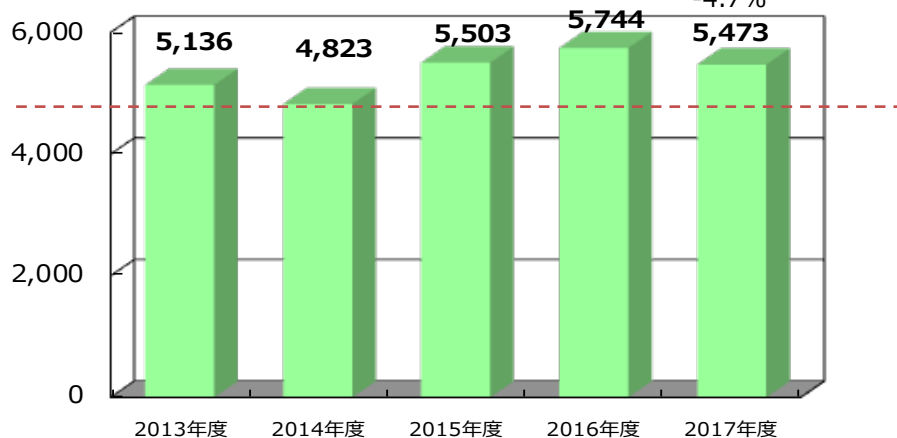
-2.9%



（CO<sub>2</sub>排出量 / 単位：t-CO<sub>2</sub>）

前年度比削減率

-4.7%



当社では「エネルギー管理規程」を定め、電力削減を中心とした省エネルギー活動を推進しています。具体的には作業場のレイアウト変更と集約化による効率化・ヒューマンエラーの削減・エア漏れの削減などの施策を継続的に実施し、使用電力量等のエネルギー削減に努めています。

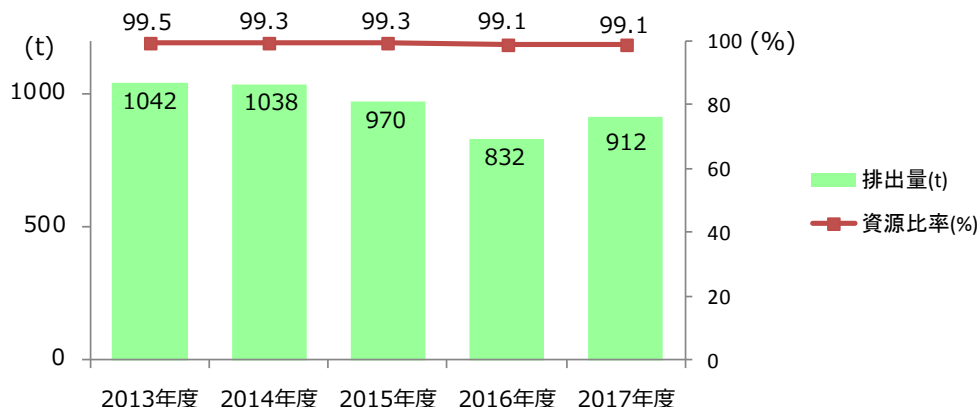
その結果、2017年度は購入電力量・CO<sub>2</sub>排出量ともに前年度よりも削減することができました。



## 循環型社会の形成

すべての国内拠点において、3 R（Reduce・Reuse・Recycle）を推進し廃棄物の資源化率＝95%以上（目標値）を維持しています。また、製品の開発・生産においても3 Rの考えに基づき、お客様が廃棄・資源化のしやすい製品・システム作りに努めています。

### 廃棄物排出量と資源化の推移



### 減量化

2017年度の廃棄物排出量は、生産量増加、老朽化した生産設備の更新などの影響により912トンとなり、前年より9.6%増加する結果となりました。今後は生産金額に見合った廃棄量であるか否かを精査します。

### 資源化率

当社では国内主要拠点すべての資源化率を95%以上にすることを目標としています。これは2010年度から達成しており、2017年度もこの維持向上に努め、本社・秋田工場・福島工場で99%の資源化率を達成しました。



発生した廃棄物は一旦、敷地内のリサイクルセンターに集積  
(本社・横浜)

### 今後の取組み

廃棄物の資源化率の維持向上はもとより、廃棄物の減少のために梱包用資材を見直す等の継続的改善を推進します。

## 水蒸気発電装置※1 Eco Luce（エコルーチェ）



水蒸気発電装置  
Eco Luce 外観



### 世界最小クラス※2水蒸気発電装置

- 世界最小クラス
- 低騒音・低振動
- 少量の熱エネルギーに対応
- 簡単メンテナンス



未利用エネルギー有効活用セミナーの様子  
（本社・横浜）

2018年度に発売を予定しております水蒸気発電装置に関して、工場内にあるボイラー蒸気や排温水などの熱エネルギーを有効に活用する方法や事例をご紹介します「第1回未利用エネルギー有効活用セミナー」を2018年5月に企画しました。日本各地で工場をお持ちの多くのお客様へ熱エネルギーの活用促進やご提案を実施してまいります。

※1：2018年度発売予定

※2：当社調べ。スクロール膨張機を利用した水蒸気発電装置として。

## オイルフリースクロール真空ポンプ

### オイルフリーでクリーンな環境

油を使用していないオイルフリー真空ポンプなので、油煙の発生による周囲の環境汚染がないだけでなく、給油作業から解放され、保守点検の作業費・部品費のコスト削減に貢献します。タフでメンテナンスサイクルが長く、通常の使用状態であればメンテナンスは1年毎（24時間運転の場合）となり、メンテナンスサイクルの長さにも特徴があります。中大型に属するマルチステージ仕様機はスクロール式の省エネ性を活かしており、同等の排気量である他社製ポンプに比べて消費電力が約半分になります。



### オイルフリー化で改善！

油煙による作業環境の悪化



作業環境をクリーンに



真空室内に油を使用していないのでクリーンな作業環境を保つことができます。しつこい油汚れを落とす手間がなくなり作業効率の向上にもつながります。

油交換や管理の手間



日常メンテから解放！



面倒な油や消耗品の管理をする必要がなくなります。作業効率の向上に加え、ランニングコストの削減にも貢献します。

製品の合格率



真空ポンプ起因のエラー解消



油を使用することに起因する不具合がなくなり、安定した生産に貢献します。ワークへの油の付着等で発生していたエラーが無くなりコスト削減・納期短縮にもつながります。

## Vスリットノズル

塗料ノズル先端に施した、当社独自の「Vスリット」により、従来構造のスプレーガンよりも低い霧化圧力と少ない空気量で、塗料を効率よく、最適な霧にすることが可能です。これにより、塗装現場におけるさまざまなムダ（塗料使用量、エネルギー、不良品、廃棄物、作業時間等）の削減にお役立ていただけます。（※WS、LSシリーズ他のスプレーガンに採用）

【霧化圧力ごとのノズル先端での霧化状態の違い】

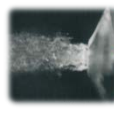
### Vスリットノズル



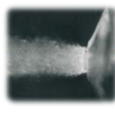
0.005MPa



0.01MPa



0.02MPa



0.03MPa

### 従来ノズル



## フッ素ライナーホース



### フッ素ライナーホース（PHF）

従来のウレタンやナイロン製塗料ホースに比べ、接液部が非粘着性で平滑性が高いため、塗料の色替えや作業終了時に、簡単にホース内部の洗浄ができます。よって、少ない洗浄液で効率よく洗浄ができるため、洗浄液の使用量削減と、廃液の削減にお役立ていただけます。

## ベンチュリーブース



### ベンチュリーブース（VB-F）

ベンチュリーブースは、排気ファンで空気を高速吸引し、遠心力を利用した渦流方式の塗装ブースです。高いミスト捕集効率により、大気および周囲環境の改善に貢献します。

## 静電塗装機

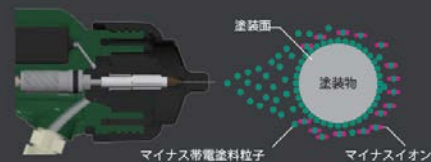


静電塗装機は、塗着効率が高いため、塗料使用量を削減することが可能です。また、複雑な形状のパーツでも少ない作業時間でしっかりと塗装できるので、作業時間の短縮に繋がり、エネルギーの節約にも貢献いたします。

### エア発電式 静電ハンドスプレーガン（EA-MS40）

#### 静電スプレーの仕組み

塗料粒子を静電気で帯電させ、接地状態にした被塗装物に付着させる塗装方法です。電気力線に沿って塗料粒子は飛んでいくので、正面からスプレーした場合でも被塗装物の裏側にも塗料が付着し、しっかりと塗装することができます。



## 子育て支援制度

育児休業・介護休業などの法定制度は 相応に利用されていますが、制度を周知して更に取得を促す一方で、働き方改革の一環として、新たに「勤務間インターバル制度の導入」を決定いたしました。

- 短時間勤務や時間外勤務の制限による業務負担の軽減措置。
- 1 または 2 時間単位で取得可能な有給休暇と半日有給休暇の組み合わせも可能とした柔軟な有給制度による通院・育児時間等への配慮。
- 出産祝い金の支給。
- 満 3 歳までの育児休暇を取得可。
- 育児休業中の通信教育支援。
- 法定休業の他、介護の必要がなくなるまで勤務時間短縮を継続可。
- 介護時に退職した際、介護終了後に退職前と同条件にて復職可。
- 年次有給休暇とは別に、対象の子 1 人当たり年間 8 日（うち有給 3 日）の看護休暇を取得可。

（休暇取得率 ※男女を問わず、対象としています。）

|              |       | 2012<br>年度 | 2013<br>年度 | 2014<br>年度 | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | 2017<br>年度 |
|--------------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 本社<br>支店・営業所 | 産休・育児 | 14.3%      | 37.5%      | 12.5%      | 16.7%      | 0.0%       | 0.0%       |
| 秋田工場         | 産休・育児 | -          | 100.0%     | -          | -          | -          | 0.0%       |
| 福島工場         | 産休・育児 | -          | -          | -          | -          | 0.0%       | 0.0%       |

2017年度は女性社員の対象者がおらず、男性社員のみが取得対象となりましたが、育児休暇の取得はありませんでした。

## 障がい者雇用

全社の2017年度の障がい者雇用率は2.08%となります。当社では障がい者の方が可能な限り就労をして、社会参加することで自らを成長させて欲しいと考えています。2017年度は法定雇用率を割ってしまいましたが、これは100年企業に向けた「働き方改革」の中で、全社的な契約社員の正社員化や年齢構成の適正化のための積極採用を開始した結果によるものです。障がい者の方を雇用することは 企業の社会的責任であると考えており、法定雇用率を上回るように努めています。

（障がい者雇用率）

|    |     | 2012<br>年度 | 2013<br>年度 | 2014<br>年度 | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | 2017<br>年度 |
|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 全社 | 雇用率 | 1.86%      | 2.29%      | 2.14%      | 2.01%      | 1.91%      | 2.08%      |
|    | 雇用数 | 10人        | 12人        | 11人        | 10人        | 10人        | 10人        |

## ハラスメントの防止

当社ではセクシャルハラスメントやパワーハラスメントを人権問題としてとらえ、指針を定めています。就業規則にも両ハラスメントならびに育児・介護等ハラスメントの防止を定め、相談窓口を設置して従業員への教育および防止に努めています。

従業員すべてが健康で安全に、そしていきいきと働くことができる職場環境をめざしています。また、地域とのつながりも大切にしています。

### 労働安全衛生活動

当社では、「安全第一」＝「安全はすべてに優先する」を基本に労働安全に注力しています。このため、安全衛生マネジメントシステムを導入し、従業員が心身共に安全かつ健康で快適に働ける環境を目指しています。

(年度別の労働災害発生件数)

|          | 2012<br>年度 | 2013<br>年度 | 2014<br>年度 | 2015<br>年度 | 2016<br>年度 | 2017<br>年度 |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 労働災害件数   | 1          | 5          | 5          | 2          | 4          | 5          |
| 内、休業災害件数 | -          | 1          | -          | -          | 1          | -          |

### 健全な労使関係

当社ではユニオンショップ制を採用しています。労使の代表は「経営の民主化」、「企業の発展」、そして「労働条件の維持改善」のため、経営協議会を月1回開催しています。人事関連諸制度の新設・就業規則・労働協約書の改訂に際しては、必ず労働組合と事前調整・交渉の場を設けて意思疎通を図っています。お互いの立場を尊重することで、信頼関係の構築と健全な労使関係を築いています。



### 人間ドック補助金制度

当社グループの国内従業員は相互扶助のため、アネスト岩田共済会に加入しています。共済会では従業員の健康維持管理のための一環として、人間ドック補助金制度を導入しています。この制度は人間ドック（脳ドック・胃がんドック・大腸がんドックなども含む）を受診した従業員に対して8万円を限度に5年に1回、補助金を支給する制度です。健康維持・向上のために活用しています。

### 産業医・保健師の指導

本社内に医務室を配置し、産業医が月に2日、保健師が週に2日勤務しています。産業医および保健師は、安全衛生だけでなく、生活習慣病の予防、禁煙援助、メンタルヘルスケアなど、きめ細かい健康管理・サポートを実施しています。

福島工場においても産業医が月に1日、保健師が週に2日勤務し、健康管理・サポートを実施しています。秋田工場では産業医が月に1日勤務し、従業員の健康管理を促進しているほか、本社の保健師が定期的に訪問し、現地での健康相談を実施しています。また、本社の産業医による健康サポート講演会も年1回実施しています。



## 太陽光発電の拡大

東日本大震災を契機とした電力不足対策である「再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法(2012年7月1日施行)」対応と省エネルギーや環境改善(CO<sub>2</sub>削減)を積極的に実施・推進するため、本社および各工場(秋田・福島)に太陽光発電設備を設置しています。

年間1,781,000kWh(発電効率100%時の値)の発電をおこない、このうち30,000kWh(発電効率100%時の値)を福島工場にて自家消費し、残りは電力会社等へ売電しています。なお、一般のご家庭で使用する年間電力量で換算すると、約335世帯を賄えることとなります。



## 防災訓練

半年ごとに各種訓練(消火器・心肺蘇生・消火栓放水)を実施し、不測の事態に備えています。



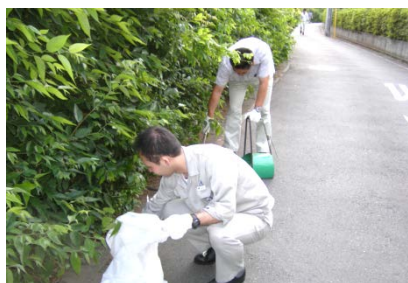
## 近隣の小学校への寄贈

地元小学校へ小学生新聞を寄贈しています。



## 社会貢献活動

本社ではアネスト岩田労働組合が主催し、毎年5月から7月の期間、近隣の公園、公道、最寄駅からの通勤路などで清掃活動を実施しています。また、35年以上にわたり献血活動に協力しています。献血活動は年に2回実施しています。



## カタログの印刷用紙

多くのカタログで、利用料金の一部が「あしなが東日本大震災遺児支援募金」へ寄付される用紙(FSユースコート・FSユースマット)を使用しており、震災遺児に向けた支援に役立てられています。



|                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号                                                     | アネスト岩田株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 英文商号                                                   | ANEST IWATA Corporation                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 本社所在地                                                  | 〒223-8501 横浜市港北区新吉田町3176番地                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 創業                                                     | 1926年（大正15年）5月1日                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 設立                                                     | 1948年（昭和23年）6月2日                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 資本金                                                    | 33億5,435万円                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 国内工場                                                   | 秋田、福島                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 営業拠点等                                                  | 横浜、名古屋、大阪ほか                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 代表者                                                    | 代表取締役 社長執行役員 壺田 貴弘                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 上場証券取引所                                                | 東京証券取引所第一部                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 主な事業内容                                                 | 1. 空気圧縮機、空圧機器及び空気動工具の製造販売<br>2. 真空機械器具・装置の製造販売<br>3. 塗装用機械器具の製造販売<br>4. 塗装用設備の製造販売並びに設置工事<br>5. 接着用機械器具・設備の製造販売<br>6. 医療機器の製造販売<br>7. 電力供給装置、動力伝達装置の製造販売<br>8. 自然再生可能エネルギーによる発電・売電事業<br>9. 前各号に掲げる製品及び設備の開発、設計、施工およびコンサルティング業務並びにこれらの製品及び設備の製造に関する技術・ノウハウの販売。<br>10. 前各号に附帯関連する一切の事業 |
| 売上高                                                    | 32,817百万円 / 単独：16,947百万円（2018年3月期）                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 従業員数<br>（グループ総数）                                       | 1,624名 / 国内：597名（37%） 海外：1,027名（63%） ※2018年3月現在                                                                                                                                                                                                                                      |
| 国内子会社                                                  | アネスト岩田コンプレッサ株式会社<br>アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社<br>エアエンジニアリング株式会社                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>海外ネットワーク<br/>（関係会社・支社）</b><br>※本報告書は日本国内を対象としております。 | <b>【ヨーロッパ】</b><br>イタリア、フランス、イギリス、ドイツ、スペイン、スウェーデン、ポーランド<br><br><b>【アジア】</b><br>台湾、韓国、中国、タイ、ベトナム、ミャンマー（駐在員事務所）、インドネシア、インド<br><br><b>【アメリカ・その他】</b><br>アメリカ、メキシコ、ブラジル、ロシア、南アフリカ、アラブ首長国連邦、オーストラリア                                                                                        |



本社



秋田工場



福島工場





**EMS**

▶ **未来の環境 = 私たちが責任者**

アネスト岩田グループの  
環境活動シンボルマーク

地球環境の保全と持続可能な社会の形成に取り組むため、1998年に行動スローガンとして策定しました。未来の地球環境を子供たちそして孫たち、さらには永遠に残していくために自分自身の責任と自覚で環境を守るという意思を表現しています。